

イシガレイは採集できず

■イシガレイは外海へ移動したか

河口域・導流堤付近・潟湖内でイシガレイの採集を試みたが、いずれの場所でも採集することはできなかった。

2011年から2022年までのデータから、イシガレイは全長7~8cmに成長すると外海へ移動する、またそこまで成長していなくても遅くとも8月後半には外海へ移動すると考えていた。しかし2023年~2025年は、2023年7月に1匹（全長6cm）採集したのみで、その個体を除くと平均全長は4cm未満、採集時期は5月までであった。

これまでの調査で、5月から6月に平均全長が7cmを超えた年（2012年 2020年 2021年 2022年① ※2022年は採集個体の全長から接岸した時期の違いが推察されたため、①②の2つの個体群で別々に集計した）があり、その年はそれ以降イシガレイを採集することはできなかった。前回（6月25日）の調査では、15匹採集し平均全長が7.2cm（レポートNo. 487参照）と外海へ移動する程度の大きさであった。今回の調査ではイシガレイを採集できなかったが、これは外海へ出るだけの大きさに成長し、6月末から7月中旬に外海へ出たためではないかと推察される。2023年から3年間、イシガレイの成長が確認できなかったが、今年はしっかりと成長している様子が確認できた。



Fig.1 モクズガニの死骸（雌）

■多くのモクズガニの死骸

河口域・導流堤付近で多くのモクズガニの死骸を観察した（Fig. 1, 2）。これらは繁殖行動を終えた個体ではないかと思われる。



Fig.2 モクズガニの死骸（雄）

■マメコブシガニの確認

マメコブシガニの生息を確認した（Fig. 3, 4）。宮城県レッドリスト2024に準絶滅危惧（NT）として掲載されている。甲幅2cmほどで、縦に歩く。写真の個体は、脚が1本欠損している。



Fig.3 マメコブシガニ



Fig.4 マメコブシガニ

（佐藤 賢治）